

2017 Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	森 華奈子
大会名	2017OP 級 アジア・オセアニアチャンピオンシップ
開催地	香港(ロイヤル香港ヨットクラブ)
大会期間	9月29日～10月7日

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	気温29度-33度で湿度も高く時々スコールが降ったが1分程度で止むので傘や合羽は必要なかった。ハーバー内の設備は整っていて日本と変わらず不便はなかった。ハーバー内各所に選手とサポーター用にウォーターサーバーが設置されていたので参加賞に入っていたボトルに水を入れて持参したスポードリの粉末を入れて飲んでいました。
宿泊場所	選手と同じ大会公式ホテル(Lホテル)2-3名1室利用で全員が同じフロアだったので良かった。ホテルからハーバーまでは車で10分の後、海岸沿いを10分程度歩き、渡し舟に乗り2分程の対岸ハーバーがあった。
大会のサポーターへの対応は	全員が事前ハーバーの利用登録をしていたのでハーバー内はキャッシュレスで施設利用できた。ホテルからハーバーまでの移動チャーターバスにサポーターは含まれていなかったためタクシー移動だったが、バスが空いているときは同乗させてくれた。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	到着翌日に午後から1名体調を崩したがチャーター艇受取後に海上練習せずホテルで休息させて夜には回復した。さらに翌日、霧森が居たが患部を冷やし薬を飲ませる等の対応が速く、数時間後には症状が落ち着いたので開会式に出席できた。それ以外は大きな怪我や病気もなく食事もしっかり採っていて全員元気だった。
サポーターとして気をつけたことは？	特に緊張した様子の選手は居なかった様に感じたが、話しかけやすい様に明るく声掛けしていた。とても汗をかく環境だったので選手の飲み物の補給や準備を徹底した。人数が多いので全員揃っているかの確認。
海外の選手を見て感じたことは？	明るく積極的に交流を図ろうとしている選手が多かった。身長の高い選手も多かったが、とてもスリムだった。

日本の選手を見て感じたことは？	前半は日本の選手で集まっていたが、他国選手と交流があまり出来ていない様だったが、後半になると他国の選手と少し話ししたりしていた。閉会式前にはTシャツ交換で積極的に声を掛けに行けるようになっていた。
Spare day の過ごし方は？	公式では予定されていなかったが、チームレースで早々に敗退したため時間が出来たので、夕食に豪華な水上レストランに行き食事した。選手にとっては良い気分転換になったと思う。
日本チームとしての課題はありましたか	チームレース経験の少なさ 今回は強風だったので先に行ったもの勝ちというレースもあった
JODAへの要望	全日本などの大きなレースでのGPSトラッキングの導入
その他	サポーターそれぞれが得意分野の能力を発揮して大人数でも揉める事もなく協力できた。 今大会でいろいろ学び、良い方たちと知り合えたすばらしい機会になったと思う。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会